学校（園）評価・自園評価
2022年度　結果報告書

2023年3月31日　学校法人明泉学園

認定こども園　フェリシア幼稚園

フェリシアこども短期大学附属

はじめに

学校評価・自己評価とは各学校（園）が、自らの教育活動および運営について、定期的に評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図ることを目的としています。そして、自己評価及び保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者・地域住民等から理解と参画を得て，学校・家庭・地域の連携協力による学校（園）づくりを進めてまいります。

本園では、半世紀を超える幼稚園としての活動のうえに、 2020年度から幼稚園型認定こども園として再スタートしましたが、その初年度から、これらの評価に取り組み、①保護者・職員による学校評価・自己評価のほかに、②第三者機関による評価、さらに③施設関係者評価（外部の専門家等）の全ての評価を実施しました。お忙しい中ご協力いただきました保護者をはじめとした関係者の皆様へ感謝を申し上げるとともに、今後の継続的な改善について温かくお見守りいただきたく、お願い申し上げます。

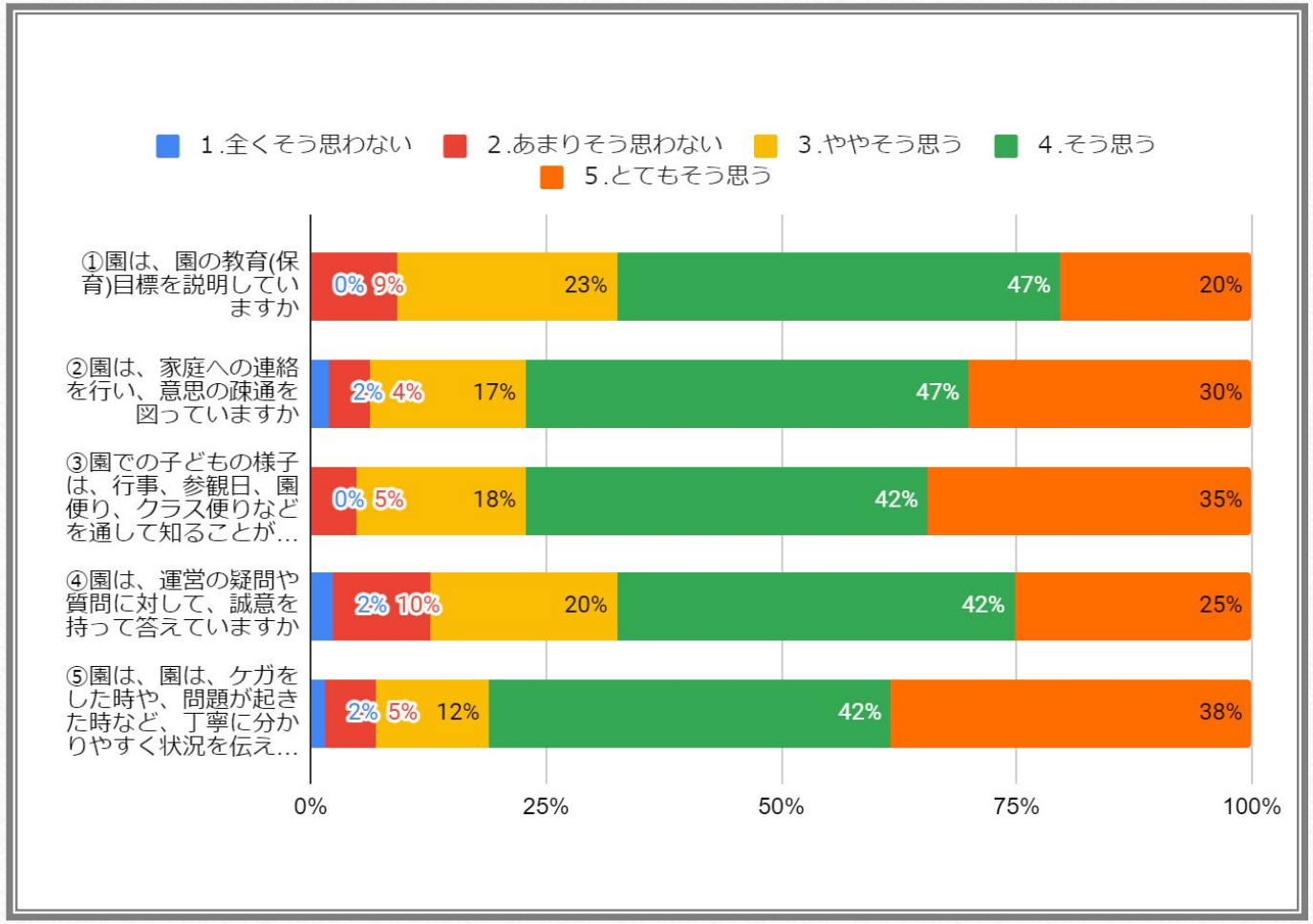
学校（園）評価　調査の概要

- 回答期間　2023年2月21日～2月26日
- 回答方法　オンライン上での回答
- 対象者　2023年2月在園児保護者
- 回収率　80％

（有効回答206名/在籍園児257名）

- 質問内容　右表の通り

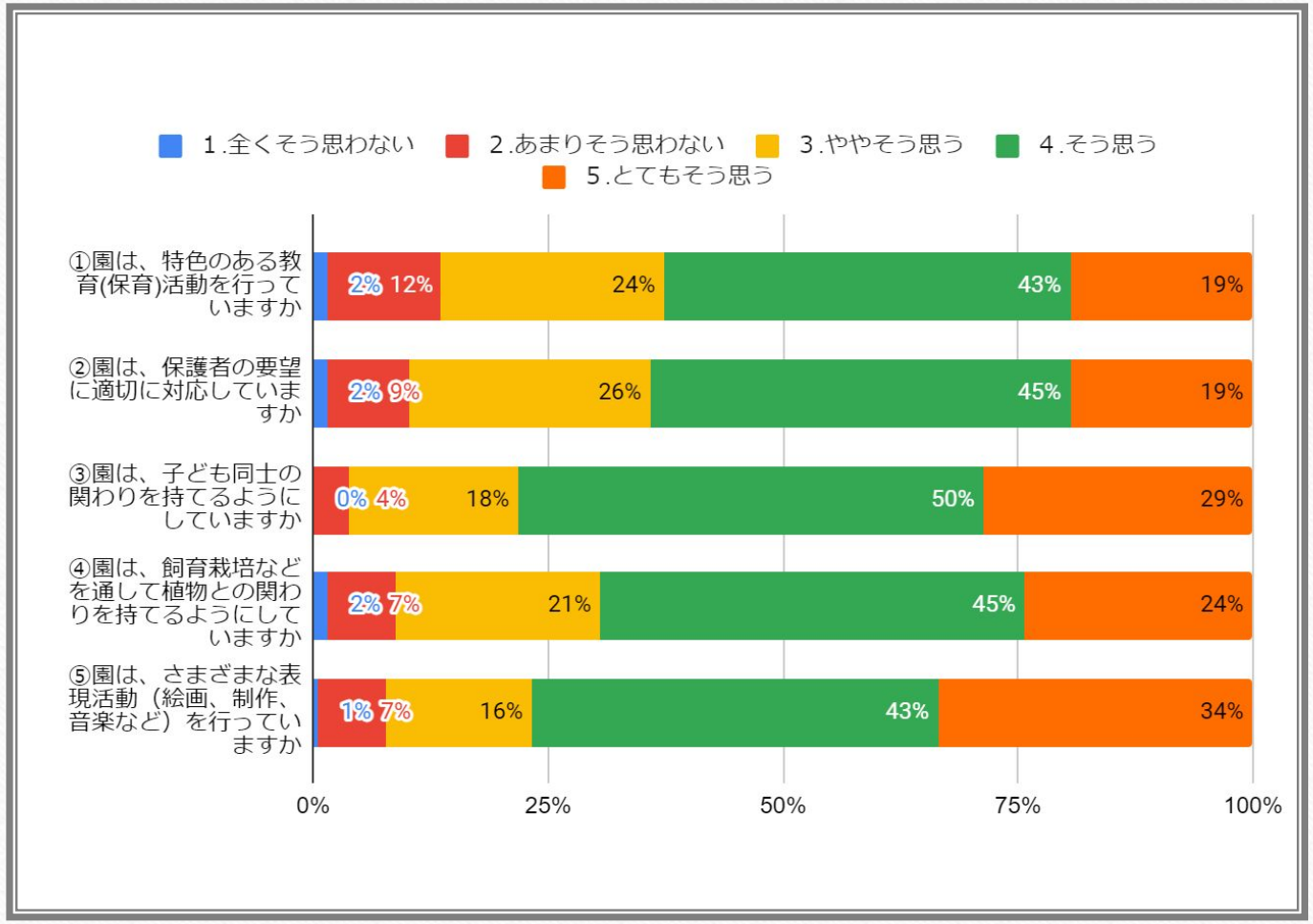
園からの情報	①園は、園の教育（保育）目標を説明していますか。
	②園は、家庭への連絡を行い、意思の疎通を図っていますか。
	③園での子どもの様子は、行事、参観日、園便り、クラス便りなどを通して知ることが出来ましたか。
	④園は、運営の疑問や質問に対して、誠意を持って答えていますか。
	⑤園は、ケガをした時や、問題が起きた時など、丁寧に分かりやすく状況を伝えていますか。
教育(保育)内容等について	①園は、特色のある教育（保育）活動を行っていますか。
	②園は、保護者の要望に適切に対応していますか。
	③園は、子ども同士の関わりを持てるようにしていますか。
	④園は、飼育栽培などを通して植物との関わりを持てるようにしていますか。
	⑤園は、さまざまな表現活動（絵画、制作、音楽など）を行っていますか。
	⑥保育教諭は、数量図形、文字などに関して興味・関心を持てるようにしていますか。
	⑦園は、子どもの発達に応じた経験ができるようにしていますか。
	⑧保育教諭は、子どもをよく理解し、一人ひとりの性格や特性などに配慮しながら指導していますか。
	⑨保育教諭は、子どもの様子についての連絡や相談に、親切に対応していますか。
	⑩保育教諭は、子どもの間違った行動に対して、正しい指導をしていますか。
	⑪職員同士が協力して活動していますか。
園児について	①子どもは、園に行くのを楽しみにしていますか。
	②子どもは、家で園のことや保育教諭の事を話しますか。
	③子どもは、園で自分の力を十分に発揮していると思いますか。
園の機能	①園は、個人情報の保護について配慮していますか。
	②園は、不審者の侵入や登降園のときの安全に配慮していますか。
	③園は、建物や遊具などに、子どもにあわせた安全対策をしていますか。
	④園は、保護者と定期的に話し合いの場（保護者参観、面談など）を設けていますか。
	⑤園は、子育て支援（預かり保育、子育て相談、園庭開放、地域交流事業など）をしていますか。



1. 園からの情報

・園からの情報の全ての項目において、9割以上の肯定的な評価を頂いており、過去に比べ、評価が上がっております。

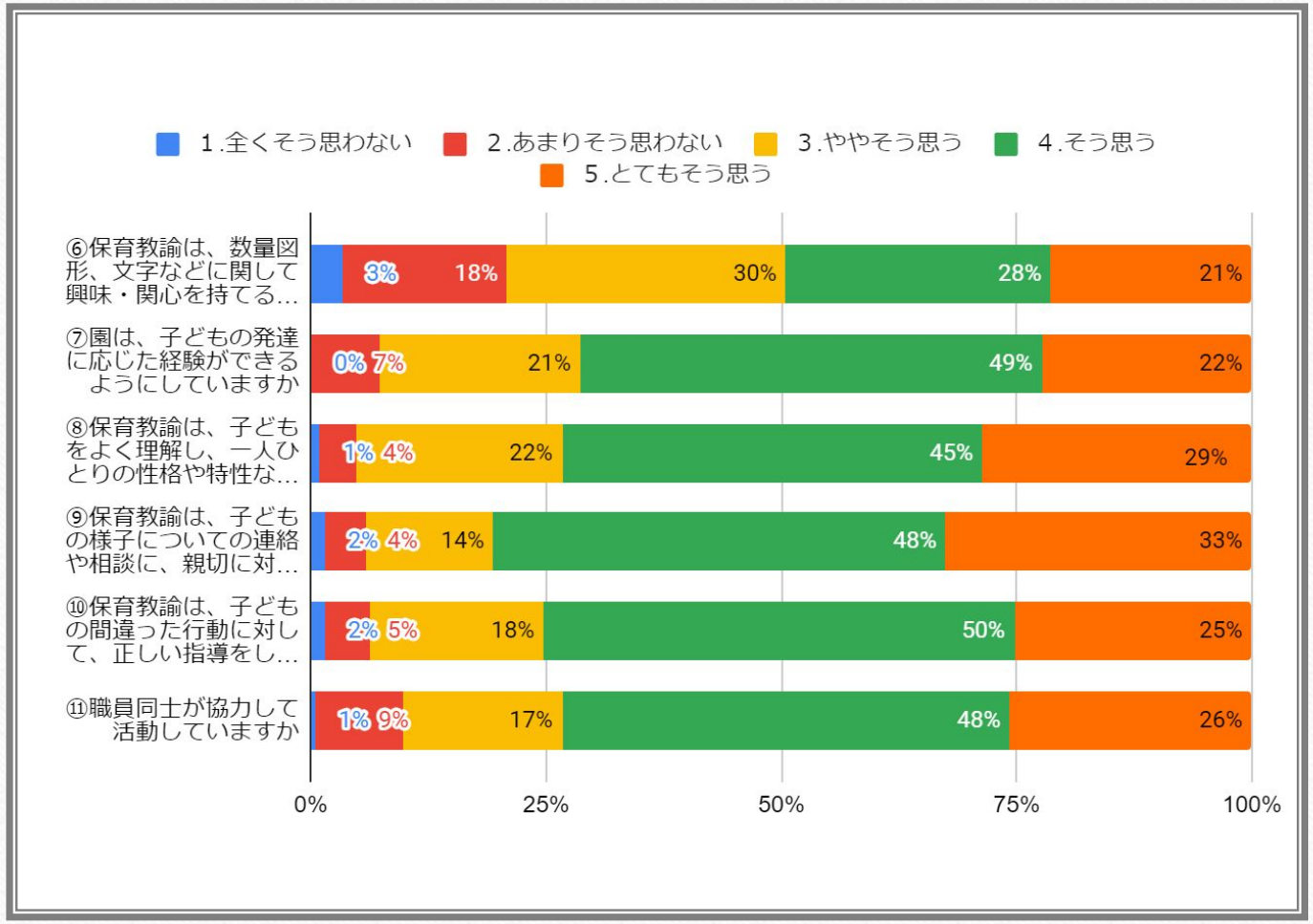
・幼稚園型認定こども園であり、バス登園の園児も多いことから、家庭とのコミュニケーションの方法を模索、強化していきます。



2. 教育(保育)内容等

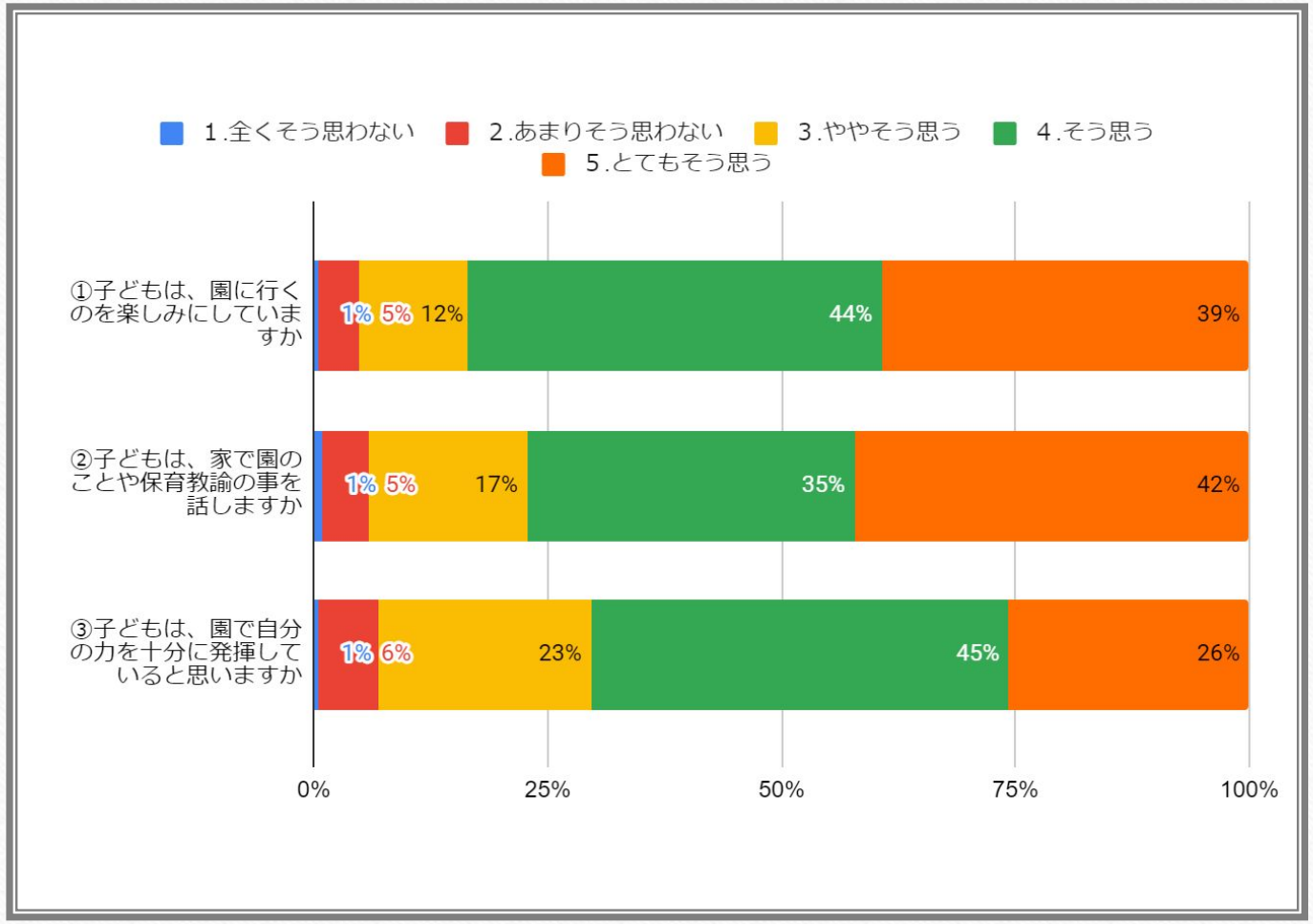
・保育の中で子ども同士が関わりあえるよう配慮している点が高く評価されています。

・特色がある活動を保護者様によりわかりやすく発信していくことが必要と思われますが、植物と関わりあえる活動への取り組みのご理解が飛躍的に高くなったことは、嬉しい評価です。
（2021年度7割⇒2022年度9割）



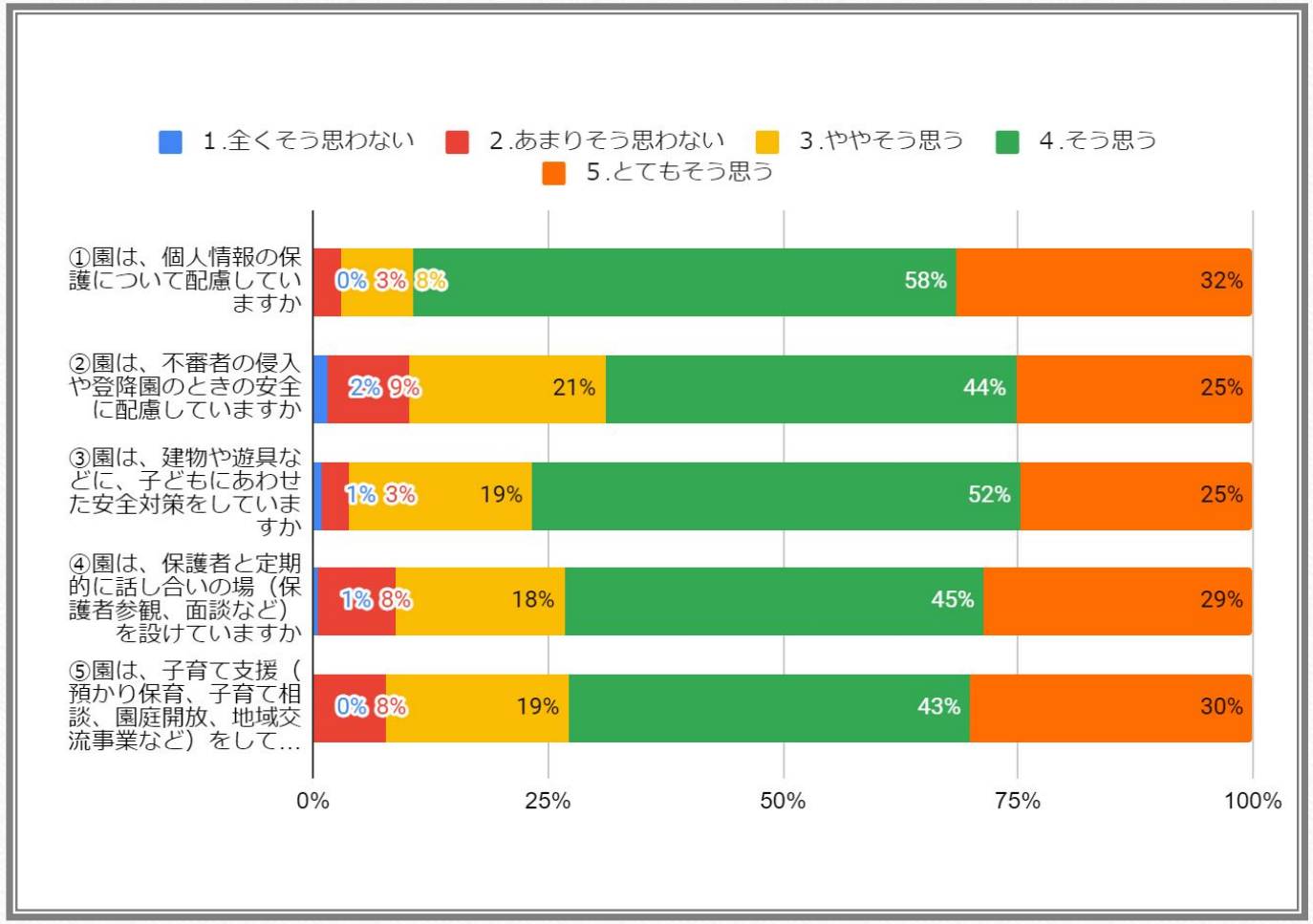
2. 教育(保育)内容等

・数量、文字などへの関心を高めることを、期待されているようです。
日常の教育実践の中で意識的に行い、その保育内容をわかりやすく保護者へ発信することで、より良い理解につながればと思います。



3. 園児について

・肯定的な気持ちをもって登園している園児が9割を超え、過去2年間と比べ、成長が見られます。
100%の園児が園に行くことを楽しみにできるよう、これからも全教員で協力してまいります。



4. 園の機能

・昨年度と比べると、肯定的な評価が上がっています。特に、遊具への安全対策については、園の取り組みが反映されているのではないかと思います。

・保護者様との定期的な話し合いの場は、コロナ禍で対面での直接的なやり取りが減っていたことから、今後、より改善できる部分ではないかと期待します。

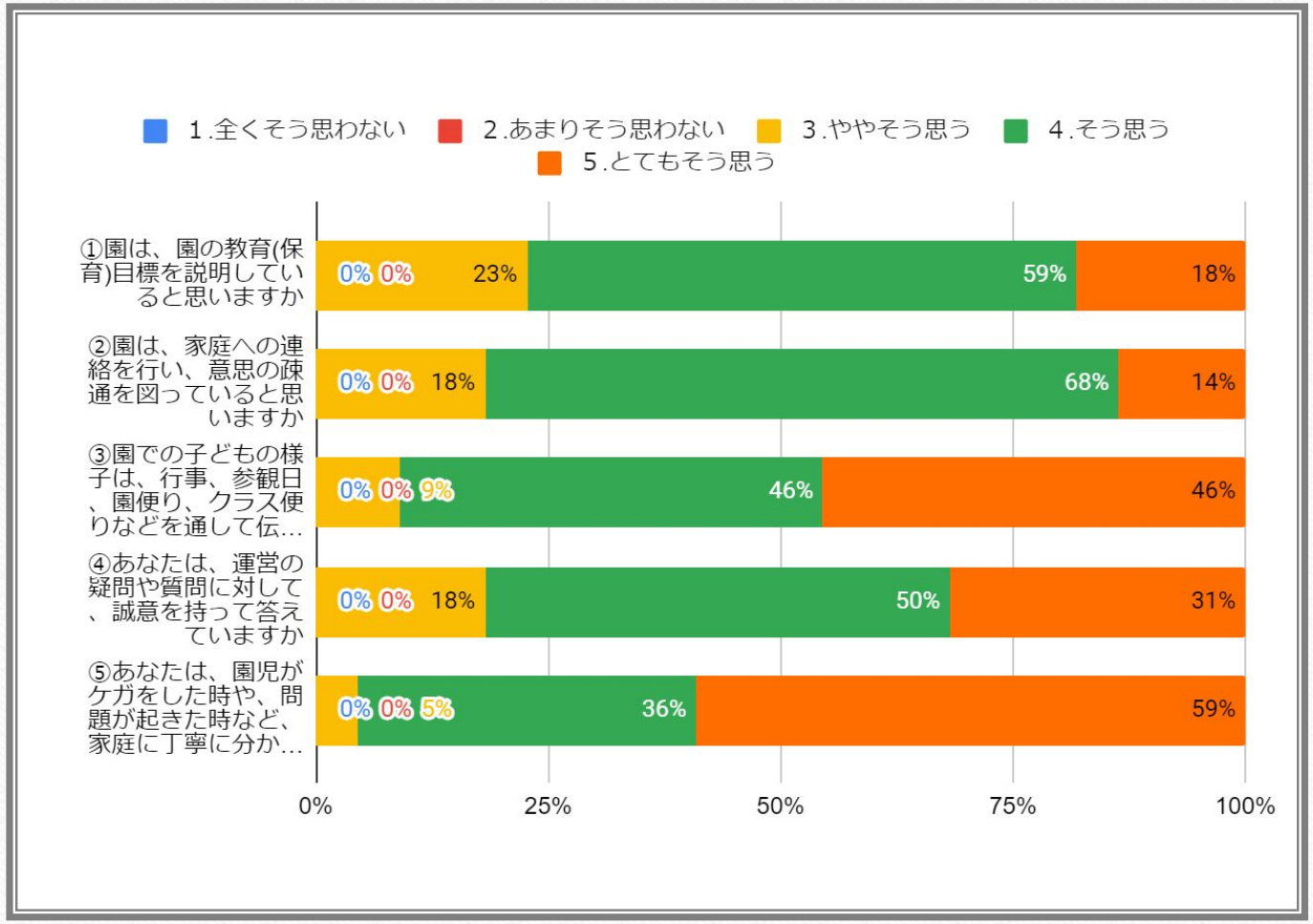
自園評価　調査の概要

- 回答期間　2023年2月21日～2月26日
- 回答方法　オンライン上での回答
- 対象者　2023年2月在籍職員
- 回収率　100％

（有効回答26名/常勤保育教諭26名）

- 質問内容　右表の通り

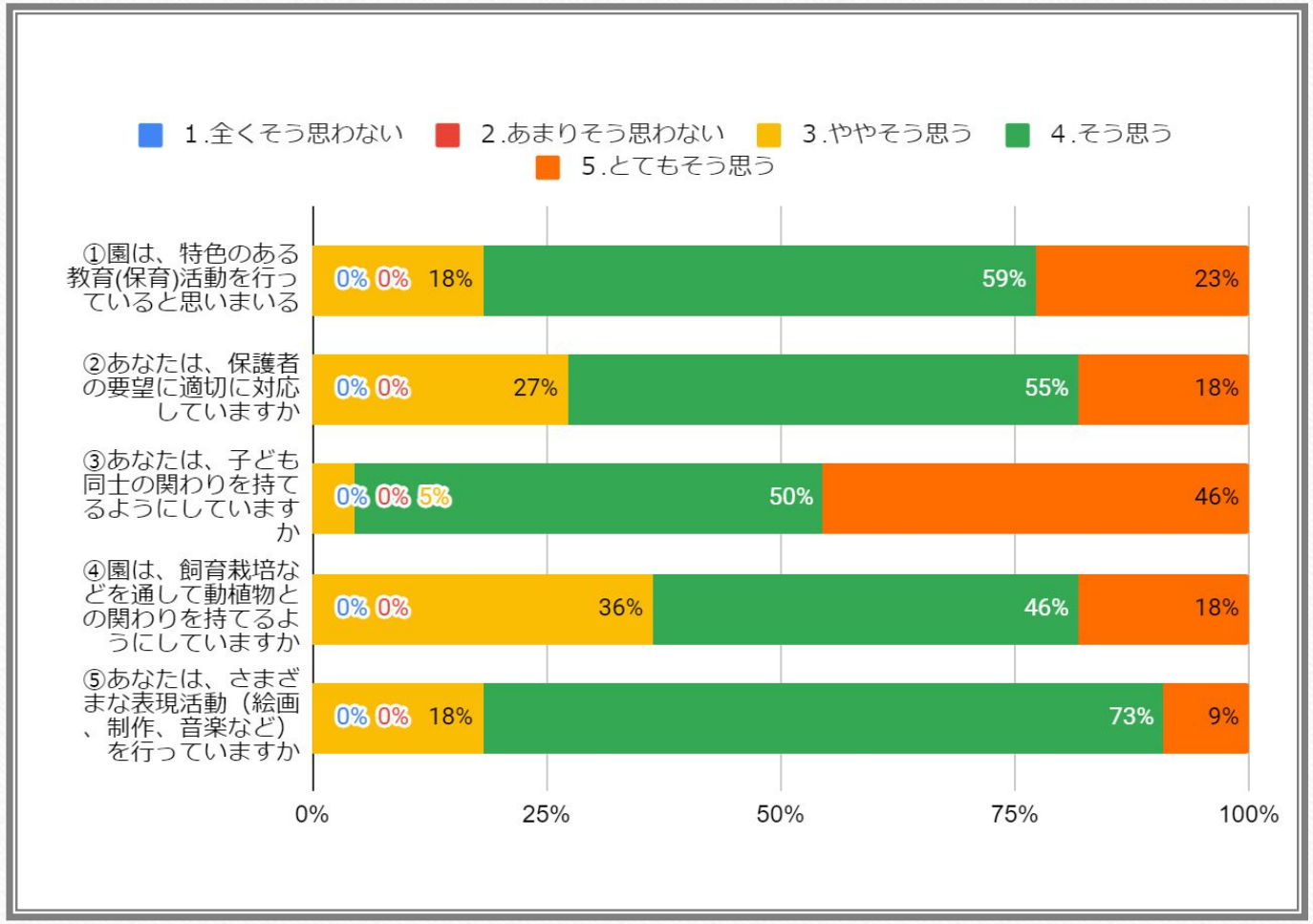
園からの情報	①園は、園の教育 (保育)目標を説明していると思いますか。
	②園は、家庭への連絡を行い、意思の疎通を図っていると思いますか。
	③園での子どもの様子は、行事、参観日、園便り、クラス便りなどを通して伝えていますか。
	④あなたは、運営の疑問や質問に対して、誠意を持って答えていますか。
	⑤あなたは、園児がケガをした時や、問題が起きた時など、家庭に丁寧に分かりやすく状況を伝えていますか。
教育(保育)内容等について	①園は、特色のある教育 (保育)活動を行っていると思いますか。
	②あなたは、保護者の要望に適切に対応していますか。
	③あなたは、子ども同士の関わりを持てるようにしていますか。
	④園は、飼育栽培などを通して植物との関わりを持てるようにしていますか。
	⑤あなたは、さまざまな表現活動（絵画、制作、音楽など）を行っていますか。
	⑥あなたは、数量図形、文字などに関して興味・関心を持てるようにしていますか。
	⑦あなたは、子どもの発達に応じた経験ができるようにしていますか。
	⑧あなたは、子どもをよく理解し、一人ひとりの性格や特性などをに配慮しながら指導していますか。
	⑨あなたは、子どもの様子についての連絡や相談に、親切に対応していますか。
	⑩あなたは、子どもの間違った行動に対して、正しい指導をしていますか。
	⑪職員同士が協力して活動していますか。
園児について	①子どもは、園に行くのを楽しみにしていると思いますか。
	②子どもは、家で園のことや保育教諭の事を話していると、保護者から聞いたことがありますか
	③子どもは、園で自分の力を十分に発揮していると思いますか。
園の機能	①園は、個人情報の保護について配慮していると思いますか。
	②園は、不審者の侵入や登降園のときの安全に配慮していると思いますか。
	③園は、建物や遊具などに、子どもにあわせた安全対策をしていると思いますか。
	④園は、保護者と定期的に話し合いの場（保護者参観、面談など）を設けていると思いますか。
	⑤園は、子育て支援（預かり保育、子育て相談、園庭開放、地域交流事業など）をしていると思いますか。



1. 園からの情報

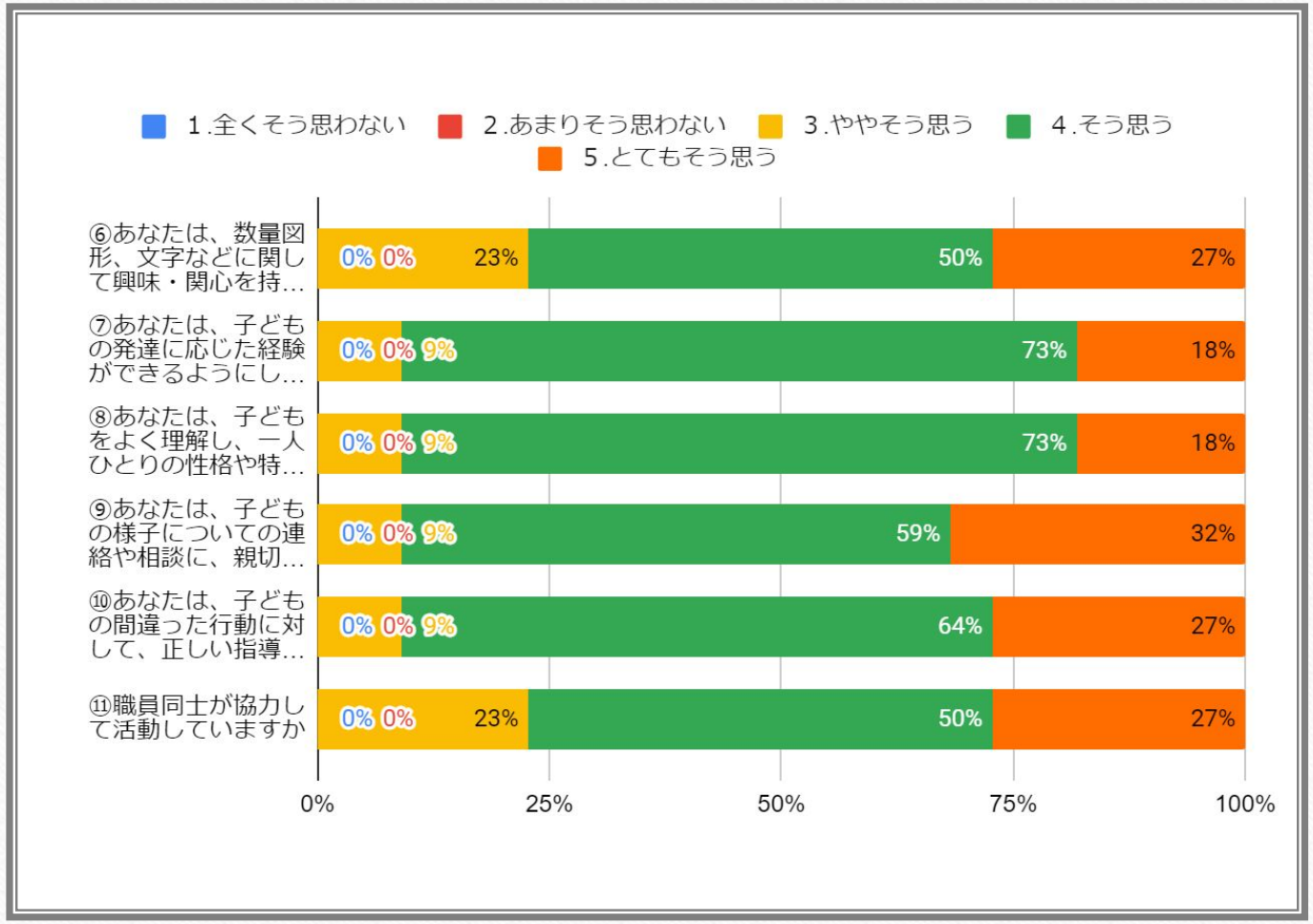
・情報発信や家庭とのコミュニケーションに意識して取り組んでいることがうかがえます。

特に、園児がけがをした時や問題が起きた時などに高い意識を持ってコミュニケーションを図ろうとする姿勢が見られます。



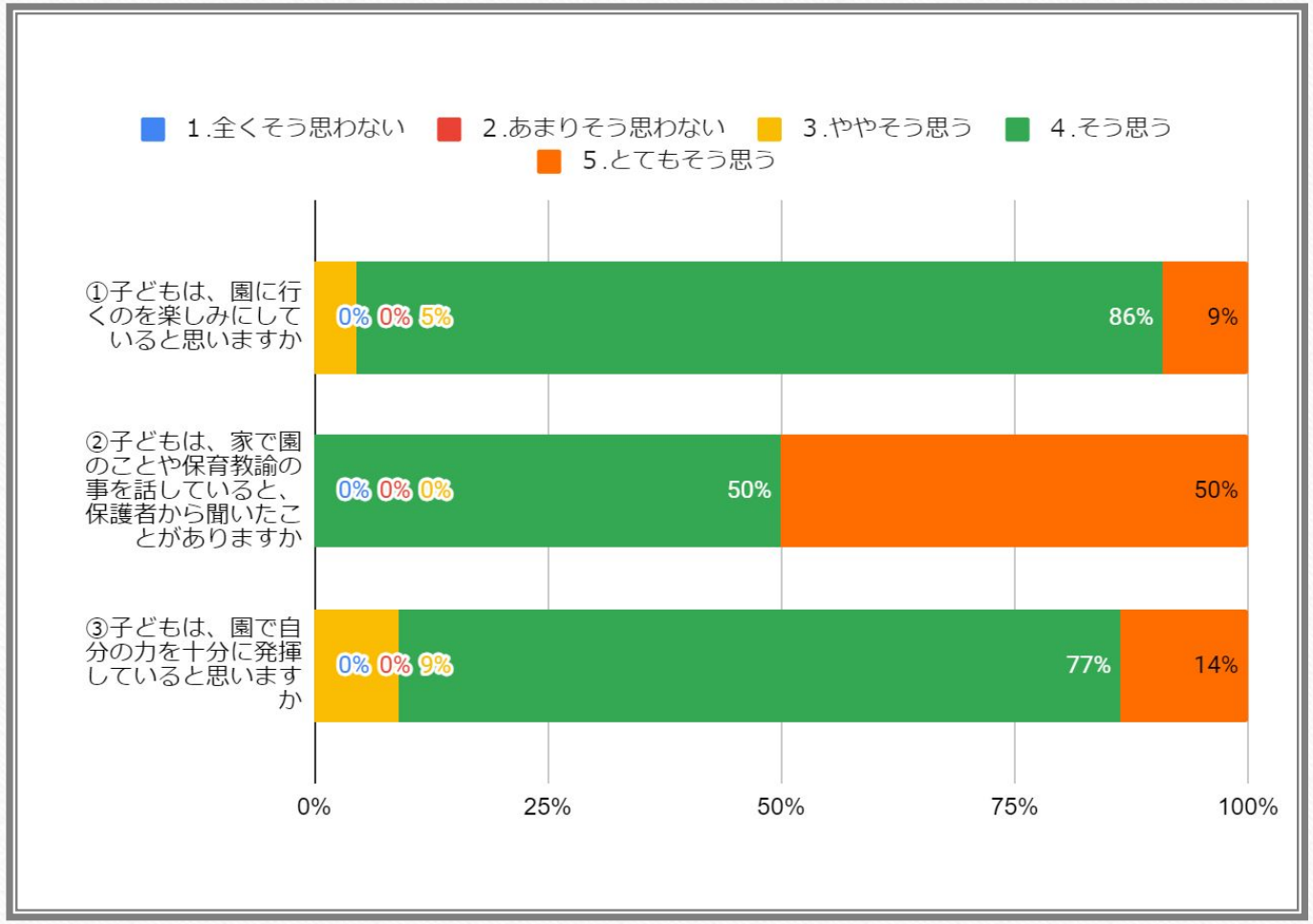
2. 教育(保育)内容等

・過去2年間、伸び悩んだ飼育栽培については、保育者が前向きに取り組み、強化したことから、100%を達成しました。保護者の評価も上がり、保護者にも伝わっていることを嬉しく思います。



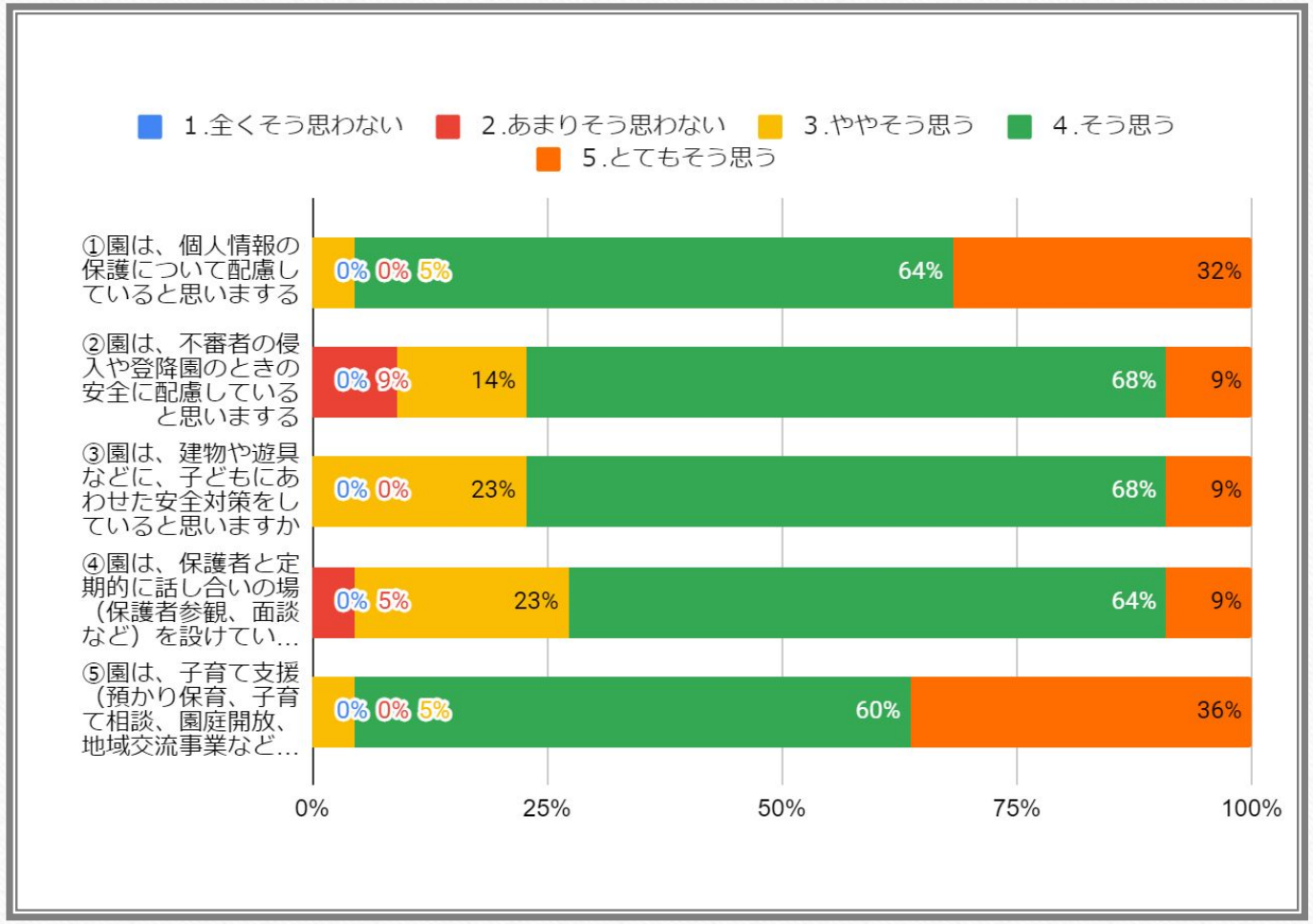
2. 教育(保育)内容等

・保護者からの評価と大きく違いが出たのが、「数量図形・文字などへの関心を高めること」です。保育者は意識しているようですが、保護者からそのように受け止められていない方がいるのが現状です。
保育実践の在り方、保育内容の伝え方等での改善が必要と考えられます。



3. 園児について

・家庭で園の様子を話している園児の姿が多いことは、私達の自信につながります。今後も自信を持って、園児が登園を楽しみにできるように、安全かつ魅力的な保育環境作り、保護者への発信に努めてまいります。



4. 園の機能

・園児の安全確保について、改善・強化していきます。

・子育て支援事業は発展してきており、職員の意識は高まっておりますが、保護者への発信が弱いようです。取り組みをわかりやすく発信できるよう努めてまいります。

おわりに

調査結果の前半は、学校評価ということで保護者から見た本園の評価でした。後半は自園評価ということで園の職員が当事者としてどのように自分たちの実践を評価しているか、という視点でした。

教育(保育)内容については、飼育栽培などを通し植物とのかかわりについて、保護者の方々から肯定的な評価を多くいただきました。専門的な知識や技術をもつ地域の方々のご協力をいただきながら、子どもたちとのサポーター活動の取り組みが評価をされていると捉えました。しかし、数量・図形・文字などに関しては、今年度コーナー保育設定など保育環境改善を行ってきた園での取り組みが評価につながっていないことから、今後の展開について工夫する必要があると感じます。

冒頭にも記載をしたとおり、2020年度に認定こども園に移行したその年より学校評価・自己評価に取り組み、今年度で3回目となります。前回は保護者からの回収率が32％だったのに対し、今回は80％と回答率が大幅に上がりました。多くの保護者の皆様が、本園の保育・教育活動について関心をもってくださっていることをしっかり認識し、前年度の評価を受け、各職員が重点項目目標（保護者への情報発信等）を意識し、課題を共有する姿勢が見られるようになってきています。その取り組みに応じた成果が見られた項目が多かったことは、本年度の大きな成果であると評価できます。

保護者の皆様からの貴重なご意見を真摯に受け止め、今回の評価で理解が十分に得られていない項目に関しては、具体的な方策等を園内研修の課題にし、保育の充実だけでなく保育者の資質向上につなげていきたいと思います。

2023年3月31日

学校法人明泉学園　認定こども園　フェリシア幼稚園　フェリシアこども短期大学附属園　園長　笛田千春